全 鉄 連 流 通 動 態 調 査 結 果 表 2019年7月分

(2019.8.26)

全国鉄鋼販売業連合会

	品種			地	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量	
	血 性		区	6月実績	前月比	7月実績	前月比	7月実績	前月比	7月実績	前月比	
		棒	鋼	東京	7, 635	101.5%	50, 014	109.8%	50, 337	110.8%	7, 312	95.8%
異	形			大 阪	2, 930	94.0%	15, 948	101.7%	16, 035	101.0%	2, 843	97.0%
				愛 知	5, 612	104. 1%	8, 338	122.4%	8, 228	124.9%	5, 722	102.0%
				計	16, 177	100.9%	74, 300	109. 2%	74, 600	109.9%	15, 877	98.1%
形	Щ	形	鋼	東京	19, 106	101.3%	8, 984	93. 9%	10, 119	108.7%	17, 971	94. 1%
				大 阪	23, 292	107.5%	8, 738	91.3%	9, 914	124.7%	22, 116	95.0%
				愛 知	14, 092	98.9%	7, 214	112.2%	7, 483	113.5%	13, 823	98. 1%
				計	56, 490	103. 1%	24, 936	97. 5%	27, 516	115.3%	53, 910	95.4%
鋼	溝	形	鋼	東京	15, 019	101. 7%	6, 897	112.6%	6, 588	112.3%	15, 328	102.1%
				大 阪	13, 050	109.3%	5, 766	95.6%	5, 920	120. 2%	12, 896	98.8%
				愛 知	8, 795	99. 5%	5, 749	116.6%	5, 730	115.2%	8,814	100.2%
				計	36, 864	103.7%	18, 412	107.8%	18, 238	115.7%	37, 038	100.5%
	Н	形	鋼	東京	37, 989	100.6%	18, 989	108. 2%	20, 576	118.9%	36, 402	95.8%
				大 阪	56, 208	98. 2%	20, 978	91.8%	27, 500	115.1%	49, 686	88.4%
				愛 知	24, 281	101.1%	13, 020	93. 5%	13, 399	98.0%	23, 902	98.4%
				計	118, 478	99.6%	52, 987	97.5%	61, 475	112.1%	109, 990	92.8%
		合	計		211, 832	101.2%	96, 335	99.3%	107, 229	113.5%	200, 938	94. 9%
				東京	10, 849	104.4%	3, 763	92.2%	3, 901	107.6%	10, 711	98. 7%
	コラム			大 阪	12, 546	98. 2%	4, 171	92.4%	4, 851	102.2%	11, 866	94.6%
				愛 知	3, 508	94.4%	1, 793	111.9%	1, 924	106.3%	3, 377	96.3%
				計	26, 903	100.1%	9, 727	95.4%	10, 676	104.9%	25, 954	96. 5%
				東京	3, 329	100. 7%	2, 092	88.8%	2, 323	99. 5%	3, 098	93. 1%
丰文	軽量 C 形鋼			大 阪	3, 314	104. 8%	1,609	90.0%	1, 742	106.6%	3, 181	96.0%
72			ሥ	愛 知	3, 139	102.3%	1,701	106. 1%	1, 890	123. 4%	2, 950	94.0%
				計	9, 782	102.6%	5, 402	94.0%	5, 955	108.3%	9, 229	94.3%
		総	計		264, 694	101.1%	185, 764	102.6%	198, 460	111.5%	251, 998	95.2%

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京30 大阪20 愛知16 合計66社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

[調査内容変更について]

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。